

サンショウクイ

Pericrocotus divaricatus (Raffles)

スズメ目サンショウクイ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内での生息数は少なくないが、国のRDBであることを考慮して選定。

形態

全長約20cm。雌雄ほぼ同色。雄では後頭部から首にかけて黒、額は白く、黒い過眼線がある。背中はや青灰色。翼、尾は黒く下面は白。雌では後頭部が灰色。

国内分布

夏鳥として本州以南の平地から低山帯の広葉樹に渡来する。関東周辺ではかつて平地林に普通であったが、しだいに山地に後退し、近年は山地からも姿を消しつつある。

県内分布

夏鳥として低山から山地の広葉樹に渡来する。県内での生息数は少なくなく、全国的にいわれるほどの減少は見られない。

生態

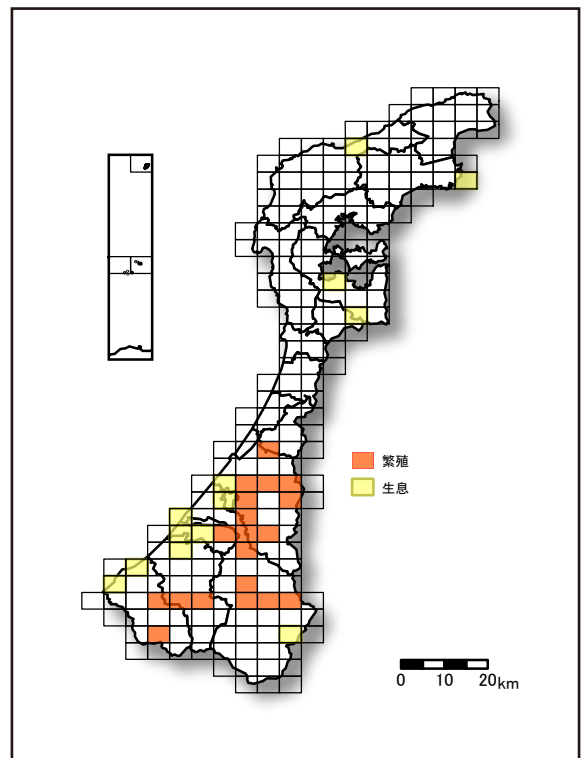
樹上性で、主食は昆虫。繁殖期は5～7月で、抱卵期間は17～18日。秋の渡りの時には数十羽の群をつくることもある。

生息地の条件

まとまった落葉広葉樹林の存在。

生存の危機

生息する落葉広葉樹林の伐採、針葉樹への転換など。また越冬地での環境悪化、乱獲などが懸念されている。(A)



県内の分布